



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年—2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第32回例会

平成24年3月7日(水) サンパレス福島

■メークアップ/23名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/44名 ■出席率/65.67%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
カウンセラー委嘱状交付
- 3 IM報告
IM実行委員会 野地利雄 委員長
- 4 「ロータリーの友」読みどころ
クラブ広報・雑誌委員会
- 5 東北第一区 ガバナー補佐 訪問
渡辺 健寿 様
- 6 閉会点鐘



カウンセラーの黒羽会員

終了後 第10回理事会

今月・来月のプログラム

- 3月14日(水) クラブ協議会(次年度委員会構成発表)
- 3月21日(水) 法定休日
- 3月25日(日) 地区大会 郡山・ユラックス熱海
- 3月28日(水) 創立記念夜間例会

今週のトピックス

3・11東日本大震災から一年が経ち進まぬ瓦礫の処分先。県外受入先での住民の反対運動をテレビ・ニュースで見て言葉がみつかりません。絆とは名ばかりなのか私たち県民も被災被害者のはずなのに？

◆会長あいさつ◆

高橋 和之 会長

3月ともなりますと、太陽の光もめっきり春めいて参りました。今年の冬は寒さが厳しかった分、一日も早く春が来るのを待ち望みたいところです。小学校低学年の理科授業でのお話であったと思いますが、先生が生徒達に問いかけをしたそうです『氷が解けたら 何になりますか？』と…。そしたら一人の生徒が『氷が解けたら 春になります』と答えたそうですが、待ち遠しい春を待ち望む気持ちの表れだったのでしょ。

さて、昨日は姉妹クラブであります東京麹町RCの車椅子贈呈式が行われました。夕方からは合同懇親会も行われまして、姉妹クラブ同士の懇親を深め合いました。関係者のご参加、ご苦勞様でした。

本日は、東北第1分区の渡辺健寿ガバナー補佐をお迎えしての例会です。渡辺ガバナー補佐には、我がクラブで提案しております震災支援事業をご理解していただきまして、大変ご尽力いただきまして、この場をお借りいたしまして重ねて感謝・御礼申し上げます。今年度も残すところあと4ヶ月となりましたが、引き続きご指導並びにご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

話は変わりまして、本日配布いただきましたロータ

リーの友3月号に、経営の神様と言われた松下幸之助翁の、“不況またよし”の記事がありますが、大変参考になります。ご承知の通り松下幸之助翁は、生前大阪ロータリークラブに所属されていまして、ロータリーの奉仕やその精神に共鳴されていたとのこと。本屋さんに行きますと松下幸之助に関するたくさんの本が並んでいますが、その中で、戦国三武将の「ホトトギスの鳴かせ方」の有名な話があります。このことを、松下幸之助翁に尋ねましたところ、「鳴かぬならそれもまたよしホトトギス」と申されたそうです。

経営の原点は“素直な心”と“それもまたよし”という事を学ばせていただきました。このことは、多様化するロータリーにも通用できる心構えではないでしょうかと、感じる今日この頃です。つまり断言することも必要でありましょうが、“それもロータリーか？”との素直な心も大事ではないでしょうかと思ったりもします。みなさん如何でしょうか？

◆IM 報告◆

野地 利雄 委員長



2月17日のIMは当クラブがホストクラブとして大変盛況の中に立派に開催する事が出来ました。皆さんにはIMの打合せを何回もして頂き大変ご苦勞かけました。感謝申し上げます。

◆「ロータリーの友」読みどころ◆

広報・雑誌委員会 喜古委員長



松下幸之助翁の成功の発想と危機管理の心得の記事を読んで感動しました。

◆東北第一分区ガバナー補佐訪問◆

渡辺 健寿 様



本日は、第4回目の福島南ロータリークラブ訪問として参りました。根本ガバナー年度に入って、8か月が経過しました。この間、高橋会長はじめ当クラブ会員の皆様には、地区、分区のロータリー活動に積極的にお取り組みいただきました。マラソンでいえば中間点を過ぎて30km手前というところでしょうか。ゴールに到達するまでよろしくご支援ご協力の程お願い申し上げます。

さて、先日の東北第一分区インターシティ・ミーティングには、根本一彌ガバナーをお迎えし、また、大橋廣治直前ガバナーには「3.11後の職業奉仕」をテーマに基調講演をお願いし、多数の会員にご参加をいただいで盛会裏に開催することができました。

お陰様で、分区各クラブのロータリアンが一同に会してロータリーについての研鑽を深め、また、ロータリーの友情を深める絶好の機会となったと思います。ホストを務めていただいた当クラブには、野地実行委員長をはじめ会員の皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災発災以来、地区として国内外から多くの支援を受け、他方、各ロータリークラブが震災支援の活動を展開してまいりましたが、これを受けて今年度インターシティ・ミーティングのテーマを「3.11後の職業奉仕」といたしました。

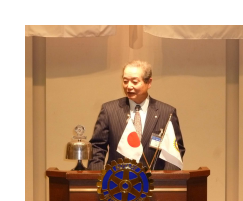
今年度国際ロータリーのテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を思い起こし、東日本大震災発災から今日までロータリー、ロータリアンとしての取り組み、地域社会に対し、とりわけ被災地、被災者の方々に対し、各ロータリアンが職業を通してどのようなロータリーの奉仕をすべきなのか、また、このような緊急の事態の中でどのような職業奉仕を実践できるのかなど、いろいろな切り口から幅広く考えていただければと考えたからです。

大橋廣治直前ガバナーの講演は、東日本大震災での職業人の対応という観点から、誠に感銘深いお話を伺うことができました。また、グループ討議には参加会員全員に真剣に取り組んでいただきました。グループ討議の内容は、後日、報告書に纏めますので、是非お読みいただきたいと存じます。

3月24日、25日開催の国際ロータリー2530地区大会が近づいてまいりました。各クラブから多数のご参加をお願い申し上げます。また、大会プログラムの1つ芸術文化交流会に第一分区の演目として、各クラブ参加による詩の群読「福島からの発信—復興から福幸へ」を予定しておりますので、特段のご協力をお願い申し上げます。

◆東北第一分区幹事 挨拶◆

加藤 眞司 様



分区幹事の加藤です。福島RC会員で職業分類は建設業です。佐藤工業株式会社の社長としております。

分区行事のメインである福島南RC様担当のインターシティ・ミーティング大変ご苦勞様でございました。クラブをあげてのご協力ありがとうございました。3.11後の職業奉仕という大きなテーマで皆様熱心に討議されたことに敬意を表します。

私ごとではありますが、私の3.11後の職業奉仕を若干お話しさせていただきます。

3月11日午後2時46分以来、昼夜を問わず復旧、復興に力を注いでまいりました。現在、応急復旧から復旧の段階であり、これから復興に向うことと思われまます。それにはまず除染が不可欠であり、人々の不安を取り除かなければなりません。先日、福島商工会議所建設業部会を中心に福島市除染支援事業組合を立ち上げました。今後、飯坂、松川、飯野の各商工会々員の参加が予定されており250社ほどの団体になると思います。早く元気な福島を取り戻すために一丸となって頑張りますので、ロータリー共々よろしくお願ひ致します。

◆スマイリングボックス◆



昨日の復興支援・車椅子贈呈式お疲れ様でした。又 懇親会有り難うございました。

東京麹町RC 廣田 伝次郎 様 第四回のクラブ訪問として参りました。今後共御支援を宜しくお願ひ申し上げます。

渡辺 健寿ガバナー補佐・加藤眞司 分区幹事 渡辺ガバナー補佐のクラブ訪問を感謝して！

高橋 和之 会長 東北第一分区ガバナー補佐訪問感謝致します。

菅原 節子 幹事 息子が高校受験一次で合格しました！！息子に感謝！！

伊藤 紘一 会員 3.11から約1年 これからが福島を再生の年です。 鈴木 光一 会員

スマイル 45,000円 累計 1,421,000円
財団・米山 48,000円 累計 1,375,000円

～一週一言～ 中

「中」というと、相対するものを結んだその真ん中を「中」というと考えるが、それは「中」の一番幼稚な段階。本当の「中」というのは矛盾撞着しているものを解決して高いところへ進める——これを「中」という。 安岡 正篤 一日一言より

—編集後記—

被災・避難者の皆様が安心をして暮らせる生活が早く戻りますように。 鈴木